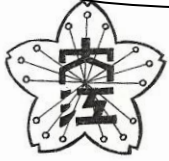


4年生の子どもたちと先生の会話。子「不審者が来た時も防災ずきんを被った方がいいと思う」「なんで？」  
「頭を守れるし手にもったら防御になると思う。」・・・なるほど。子どもの発想って素晴らしい！「自分の命は自分で守る」ことについて考えている子どもたちの意識の高さに感心しました。えらいぞ！4年生。



# 大江の風



9月5日  
No. 4 1

## ボランティア活動も スタート！いいね～

今週は、「ほほえみいっぱいあいさつウィーク」です。朝から生活委員会の人やいろいろな学年の子どもたちが、先生たちと一緒に門のところに立って、あいさつ運動を展開しています。正門では、前を通る自転車の高校生にも大きな声であいさつをしていました。高校生の方がちょっと恥ずかしがって通っていましたよ。

あいさつ運動の他にも、草抜きをしてくれたり、落ち葉集めをしてくれたり・・・感心するのは上学年と一緒に下学年ががんばっていることです。「6年生は朝のボランティア活動をする」という学校はよくあります。大江小のよいところは、5・6年生が率先して働き、それを見た下学年が一緒に楽しそうにお手伝いをしています。そして先生たちが、まずは背中でお手本を示しています。そういう姿を「かっこいい。すてきた。」と思ってくれる子どもたちが、「よし、私もやってみよう」と主体的に奉仕活動に取り組んでくれているのです。決して強制的ではなく、学校みんなのために働くことの意義を理解し、2学期スタートして1週間で行動に表す子どもたちが増えてきています。うれしいな～。



昨日は特に元気がよかったですね。みんなの声が青空に響いていました。参加してくれた人たち、ありがとう。気持ちよく1日がスタートしました。



えのきの周りの草取り。黄色の帽子をかぶった1年生も3年生も交じって草取りをしていました。ありがとう。



2年生はあいさつ運動とはっぱ集めと分かれてがんばっていましたね。感心しました。

## 地震避難訓練をしました



1年生も上手に素早く防災ずきんをかぶることができましたね。なんかとんがり帽子をかぶった小人さんみたいで、かわいいね。

昨日は、授業中に地震が起きたことを想定しての避難訓練。教頭先生の放送で、すばやく机の下に退避し、揺れがおさまれば避難の指示がでたら、自分で防災ずきんをかぶり廊下へ並ぶ・・・という短時間でできる簡単な訓練でした。感心したのは、誰もふざけず黙って真剣に訓練ができたこと・・・大変すばらしいです。災害は授業中、担当が付いているときに必ず起こるとは限りません。状況を見極め、避難方法、経路を素早く判断して自分で行動しなければなりません。「自分の命は自分で守る」なのです。

来週は不審者避難訓練をします。うちの校舎の弱点は、

不審者がどこからでも入れて教室に力ギがかからないこと。だから、教室の廊下側の木の窓枠、ドアに鍵をつけました。サッシに変えてほしいとずっと要望しても通らないので、学校でできる安あがりの(1個77円)子どもを不審者から守るための苦肉の策です。工藤先生に、子どもがいない時に取り付けてもらいました。その数なんと100個以上。硬い木枠・・・大変な作業でした。



これだけでも侵入を防げます。